

資料4



コロナ禍における 地域の学びの活動 (横浜市都筑区)

NPO法人 I Love つづき 岡本典子

岡本 典子 (おかもとのりこ)



愛知県出身

高専・大学を経て、建設会社に勤務

建設現場で施工図の管理及び現場監督として働く

結婚を機に建設会社を退社し横浜へ

2009年10月～ NPO法人ILoveつづきで活動を開始

2011年 4月～ 会計を担当し、組織の活動に関わるようになる

2018年 総務省「地域におけるIoTの学びの推進事業」の実施

※つづきIoT学習推進協議会（9団体）の事務局を担当

2019年「デジタルクラブつづき」活動開始

プログラミング
との出会い

現在、5つのNPO法人に所属

ILoveつづきでは、会計業務を中心に事務及びシステム等の管理を担当しながら、「デジタルクラブつづき」事業を担う

特定非営利活動法人（NPO） I Love つづきは・・・



まちが元気になること。
まちにいつも新しい風を吹かせること。



2003年より
NPOとして活動開始

2013年11月OPEN

すてきな空間をシェアできる
心地いいカフェ

- 環境調査、まちの落書き消し、
- キャンドルナイト、打ち水大作戦
- ハーブプロジェクト等

環境

こども
青少年

- ミニヨコハマシティ

福祉

- ひとり親家庭等
在宅就業支援事業
- 福祉作業所のサポート
ネットショップ運営と
商品販売

観光

みんなで
まちづくり

子育て
支援

- 小麦プロジェクト

- 横浜市北部プロモーション
- 地域情報の発信
- ウェブタウン横濱

防災

- 災害に強いジュニア育成～
サバイバルジュニアプロジェクト

経済

ICT
支援

- 地域におけるIoTの学びの推進事業
- 自治会町内会新しい活動スタイル
応援事業

- テレワークセンター横浜

コロナ禍で
出来る事を
考える

イベントの
自粛
↓
屋外イベント
の提案・実施

事務所・カフェ
の移転
↓
クラウドファンディング
の実施

事業の
中止・縮小
↓
補助金・助成金
の応募



密を避けて
活動を実施
↓
オンライン
の活用

まちのステークホルダー

地域コミュニティ

自治会町内会

地域の課題

自治会・町内会
新しい活動スタイル応援
(オンライン・アプリ活用)

中間支援
行政の課題

行政

住民公聴・広報

いろいろな運営委員会

市役所

県庁・国

教育委員会

警察・消防

シェアリーカフェの運営

公園愛護会等

中間支援

デジタルクラブ
つづき

地域ICTクラブ

小中学校
高校

商業振興会等

大学・研究機関

テーマコミュニティ

地域まちづくり登録グループ

さまざまな

環境・まちづくり・福祉 etc

コミュニティビジネス

ヨコハマ小麦部

地産地消
商品開発

企業のミッション

株式会社

企業

企業CSR

ヨコハマ小麦部

地産地消 商品開発



その土地で作られているものを知る
どんな風に作られるのかを知る

便利さを知る
楽しさを知る

自治会・町内会 新しい活動スタイル応援 (オンライン・アプリ活用)

中間支援

シェアリーカフェ の運営

中間支援



やりたい事を実現させる

NPO法人 Love つづきの 助成金申請ノウハウ講座

第1号 5月31日10時半～12時 カフェ会議 (Zoom) - 無料 (50名)

第2号 5月31日13時～14時 制作支援のしくみと補助金の申請方法

Office: 045-3300-0004



Zoomとは？

Zoomミーティングに参加する

1. 準備

2. Zoomアプリケーションのインストール

Zoomのインストール方法

Zoomのインストール方法

Zoomのインストール方法



自治会でLINEを使ってみよう

LINEって何？

LINEのメリット

LINEのデメリット

LINEの活用方法

メンター・サポーター勉強会

デジタルクラブ
つづき
地域 ICTクラブ

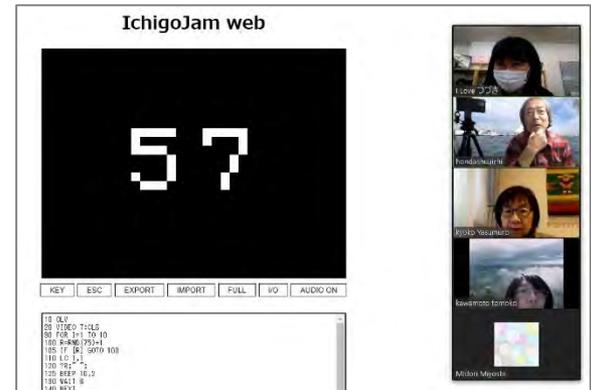
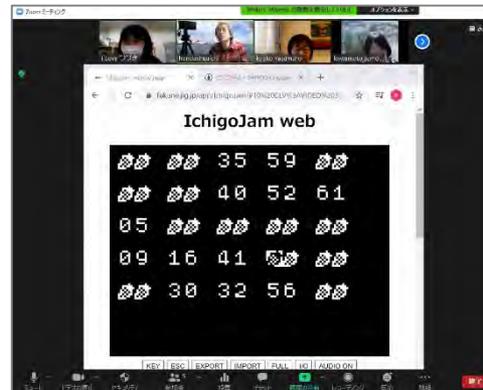
楽しさを知る
作る楽しさを知る

東京都市大学の先生による
ハードディスク分解WS



多世代交流
地域の場づくり

メンター・サポーター勉強会（オンライン）



↑ プログラム提供：PCN上田

～課題～

人材の確保・育成

活動資金・場所の確保

コンテンツの確保

広報・集客・認知度の向上

メンター・サポーターが楽しむ地域ICTクラブ！！

地域ICTクラブの多くはボランティアベースでの活動が多い

運営を維持・継続していくには、地域ICTクラブがその人にとって、

楽しいものであることが一番！

「社会に貢献できている」「社会に役立てている」というステージを用意する

地域ICTクラブに所属していることで、得られる特権を見つける

例) 人との繋がり、技術の向上、お金が得られる活動へのステップ

～課題～

人材の確保・育成

活動資金・場所の確保

コンテンツの確保

広報・集客・認知度の向上

人材確保には、イベントの定期開催が効果的！

定期的なイベント実施は、クラブの認知度もアップ

→参加者及び保護者等にも呼びかけて、人材の確保に結びつける

定期的なイベント実施には、人材確保はもちろん、活動資金も必要

クラブを維持していくには、安定した場所の確保と機材の保守費用も必要

人をお願いするには、毎回無償のボランティアでは難しい

→助成金を頼るか、地域ICTクラブが取得しやすい補助金制度の確立

～課題～

人材の確保・育成

活動資金・場所の確保

コンテンツの確保

広報・集客・認知度の向上

プログラミングに触れる子どもたちのチャンスは平等に！

いつ、どんな子が、どんな事をきっかけに、興味を持つかはわからない

→学校の総合学習等で、地域ICTクラブが参画し、

子どもたちに機会を提供する

総合学習で出前授業が出来るような予算・助成金の確保

興味を持った子どもたちが、地域ICTクラブに参加する流れを作る

～課題～

人材の確保・育成

活動資金・場所の確保

コンテンツの確保

広報・集客・認知度の向上

コンテンツの確保が必要！

機材やイベントに有効な新しいコンテンツを試してみたり、

機器を一掃するような予算はないために、今ある機器内での工夫になる

→コンテンツが増えていかない

コンテンツを増やすためにも情報交換が必須

→各クラブの人と繋がりを作る

勉強会の実施により、アイデアを共有する

～課題～

人材の確保・育成
活動資金・場所の確保
コンテンツの確保

広報・集客・認知度の向上

地域ICTクラブのブランド化 or 認定化 ➡ 安心感

地域ICTクラブ間のネットワークを形成し、ブランド化

or

地域ICTクラブを含む全国で活動するプログラミングクラブへの認定制度の導入

→行政（総務省、教育委員会等）に認定されているとなると利用者が安心する

クラブ数の増加に繋げる為には、双方がWinWinになることを考える

「プログラミング」で繋がるまちづくり

地域支援活動を軸とするNPOの一員として子どもたち、シニア世代を繋げるきっかけの一つに地域ICTクラブの活動があるように活動の維持に努めたいと思います。

ありがとうございました